

# 音声付パワーポイント作成方法

- Windows版PowerPoint 2016/2019/365
- PowerPoint for Microsoft 365 for Mac

## <<作成にあたっての注意事項>>

- 音声マイク機能の無いPCの場合は、外部マイクを取り付け願います。
- レーザーポインターや蛍光ペンなどのオプション機能は使用できません。
- 画面切り替えアニメーション、ページ内アニメーション、発表者ツール・ノートは使用できません。
- データ作成終了後は、必ず始めから再生して口演音声や動画等の動作状況についてご確認ください。

# ・音声付きパワーポイントで講義作成の流れ



パワーポイントで資料を作成（音声無）

※配布資料として配布可能の場合は、こちらの資料を後日アップロードしていただきます。

端末音声設定確認

Windows

Mac

パワーポイントに音声入力・保存

Windows

Mac

Windows

Mac

画面が異なります。

MP4形式でエクスポートし、保存（600Mb程度）

Windows

Mac

講習会専用サイトにてご確認

※後日ご案内をお送り致します。

# Windows音声付パワーポイント作成方法

・ Windows版PowerPoint 2016/2019/365

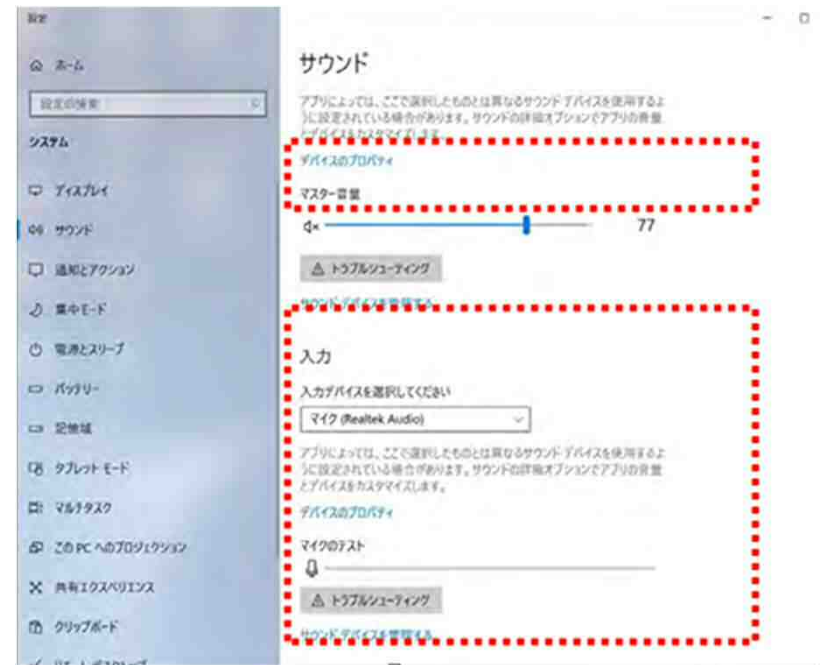
# 録音前の音声設定 for Windows PC

## 事前音声マイク確認事項 <Windows P C >

PowerPointを開く前にマイクレベルが上がっているかを確認お願い致します。

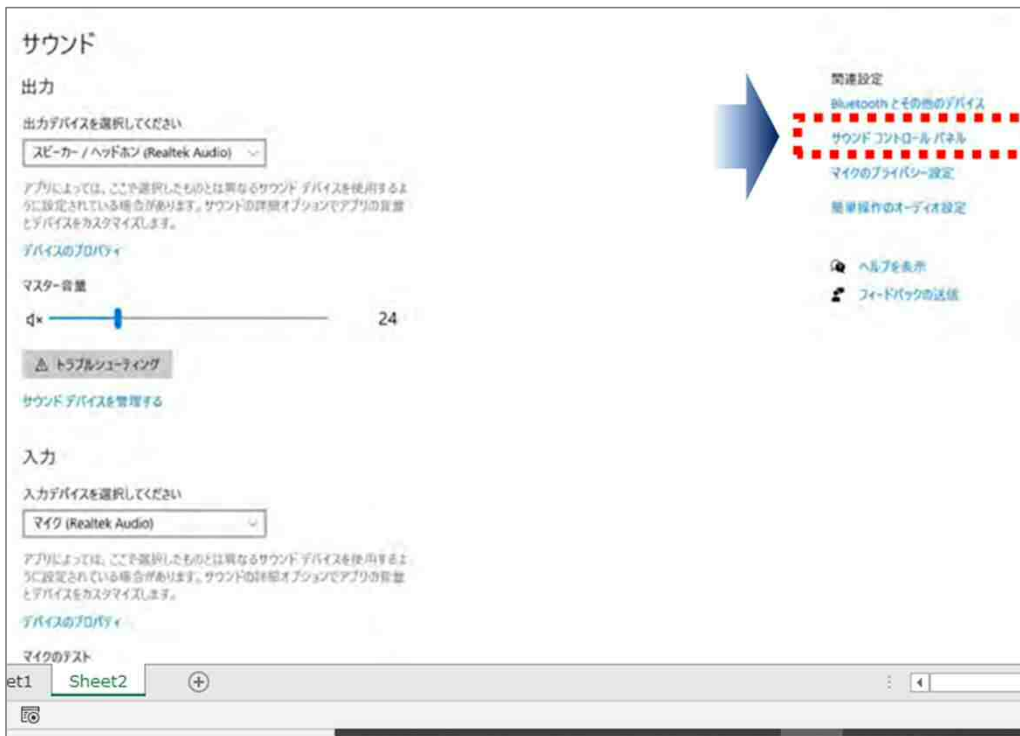
### 確認方法

画面左下 ボタンを右クリック→システムを選択し、表示された画面の画面左側サウンドをクリックします。マスタ音量を上げ、マイクのデバイスを確認の上、マイクのテストを行います。



# ・録音前の音声設定-2

続いて、画面左側のサウンドコントロールパネルをクリックし、「録音タブ」をクリックし表示されたマイクを選択し、プロパティをクリックし、プロパティ画面を開きます。



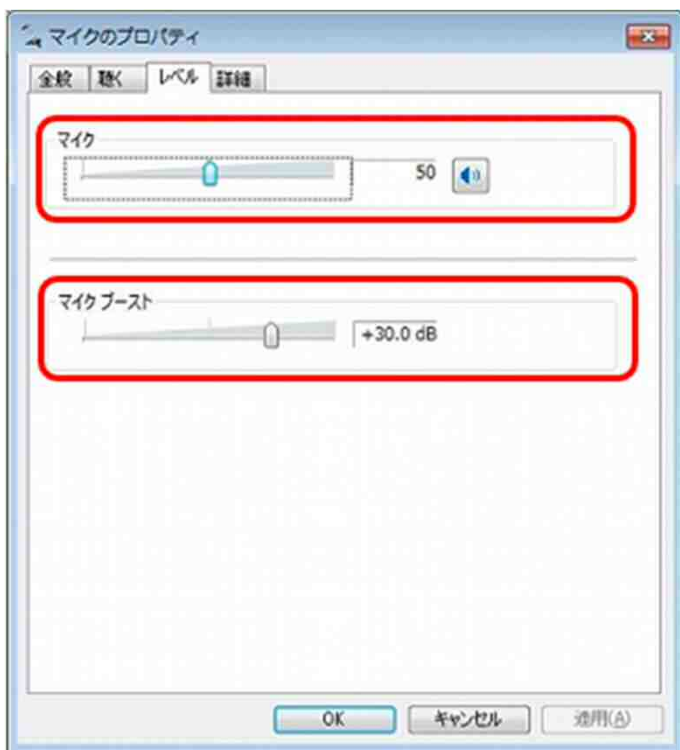
## ・録音前の音声設定-3

表示されマイクのプロパティのレベルタブをクリックし、「マイクの音量」を50以上「マイクのブースト」のレベルを、大きめの数値（20dB～30dB程度）に設定し、OKをクリックします。以上で設定は完了です。

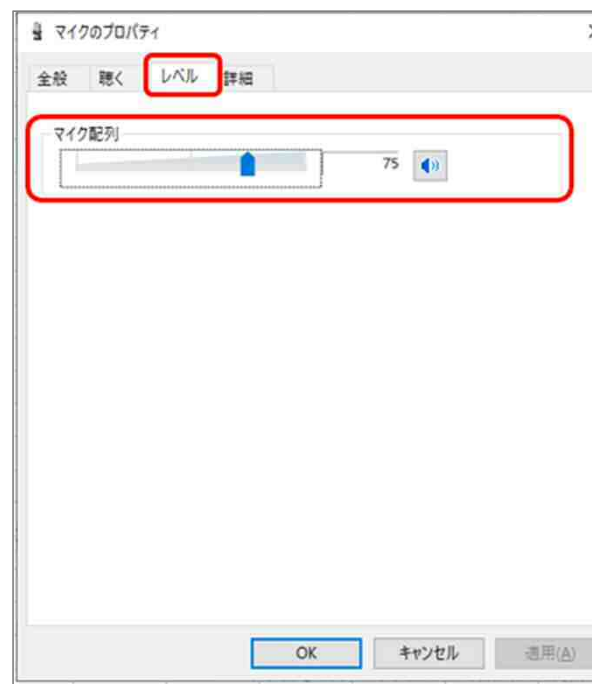
**※マイクブーストの数値を上げすぎると音が割れてしまう場合があります。**

※「マイクブースト」はマイクの入力レベルを増幅する機能です。

※「マイクブースト」の設定がない場合もあります。



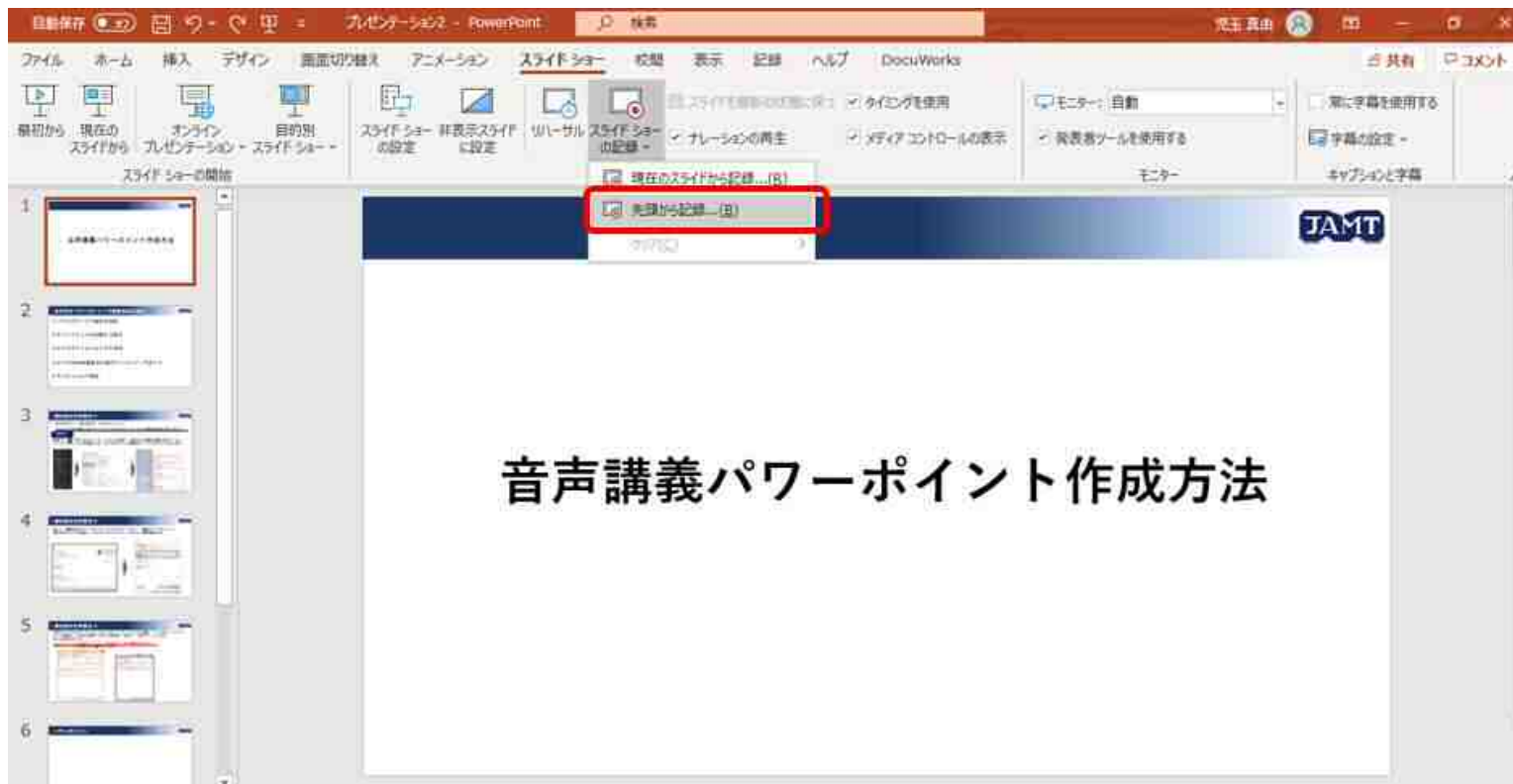
※マイクブーストの設定がない場合



# ・ PowerPoint 音声入力

## Windows版PowerPoint 2016/2019/365の場合

プレゼンテーションファイルを開き「スライドショー」→「スライドショーの記録」→「先頭から記録」をクリックします。



# ・パワーポイント音声入力設定

スライドショーの記録画面に切り替わります。

右下のアイコンで、マイクとカメラの ON/OFF をクリックして設定します。

自己紹介の間はできるだけカメラをONでお願い致します。

記録 停止 再生

ノート

クリア 設定

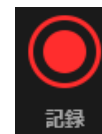
JAMT

音声講義パワーポイント作成方法

スライド 1/8

0:00 / 0:00

マイク カメラ プレビュー



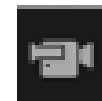
上記記録ボタンをクリックすると録音が始まります。



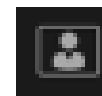
録音中はボタンが一時停止に変更になります。



マイク on



カメラ on



プレビュー on

プレビューだけ切ってもカメラを切らないと、ビデオも撮影中になります。



# ・録音開始

録音が始まりましたら、ナレーション（講義）を録音してください。  
講義の間はカメラをOFFにするとデータ量の節約になります。



この状態が録音中です。  
ここをクリックすると、  
録音が中止となります。



停止をクリックすると、  
最初のスライドに戻ります。



ここをクリックすると  
次のスライドに移動します。



マイク ON



カメラ OFF



プレビュー OFF

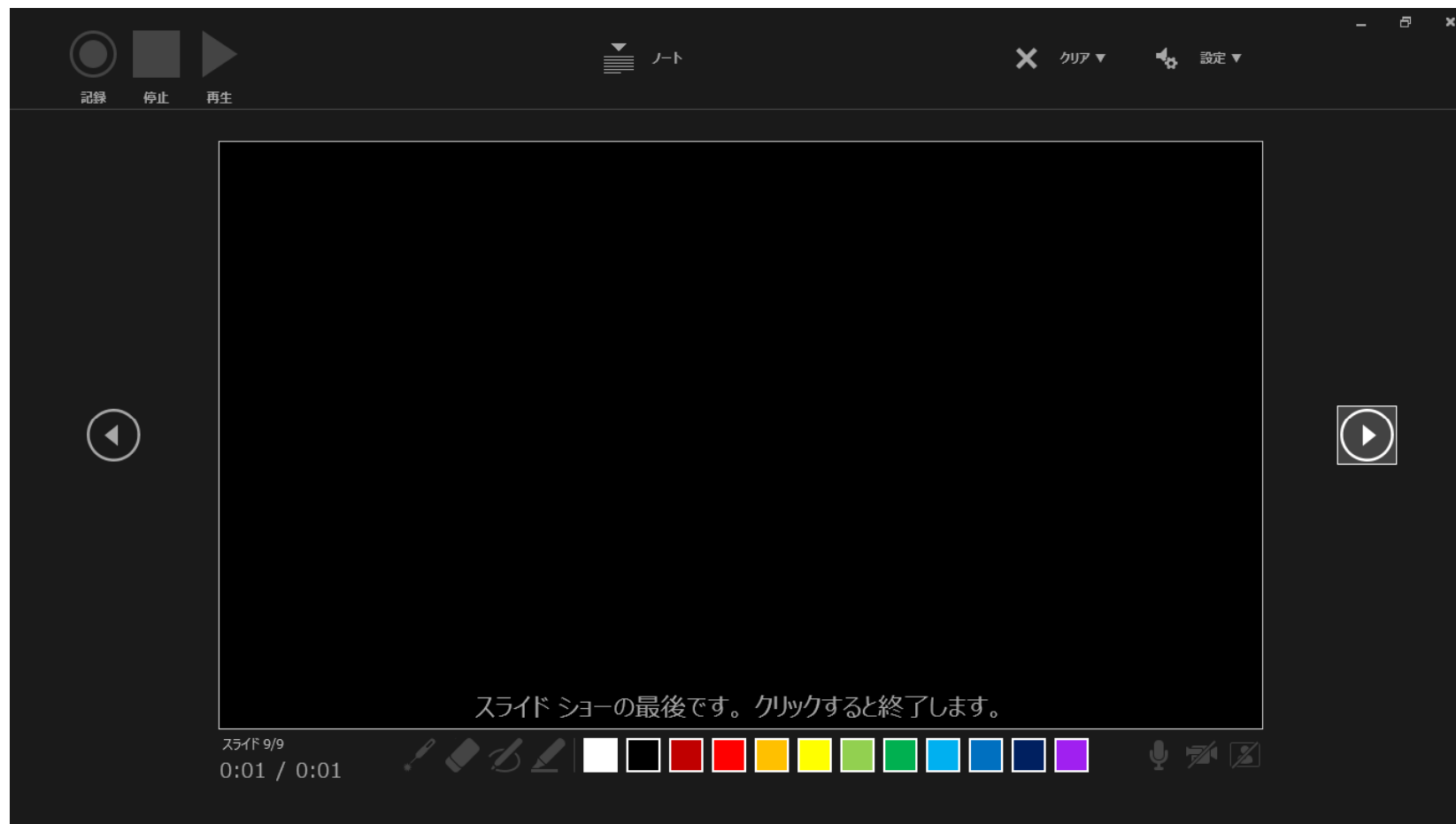
プレビューだけ切ってもカメラを切らないと、ビデオも撮影中になります。

# ・ 録音終了



Windows

スライドショーが終了するとナレーションも終了し、元の画面に戻ります。



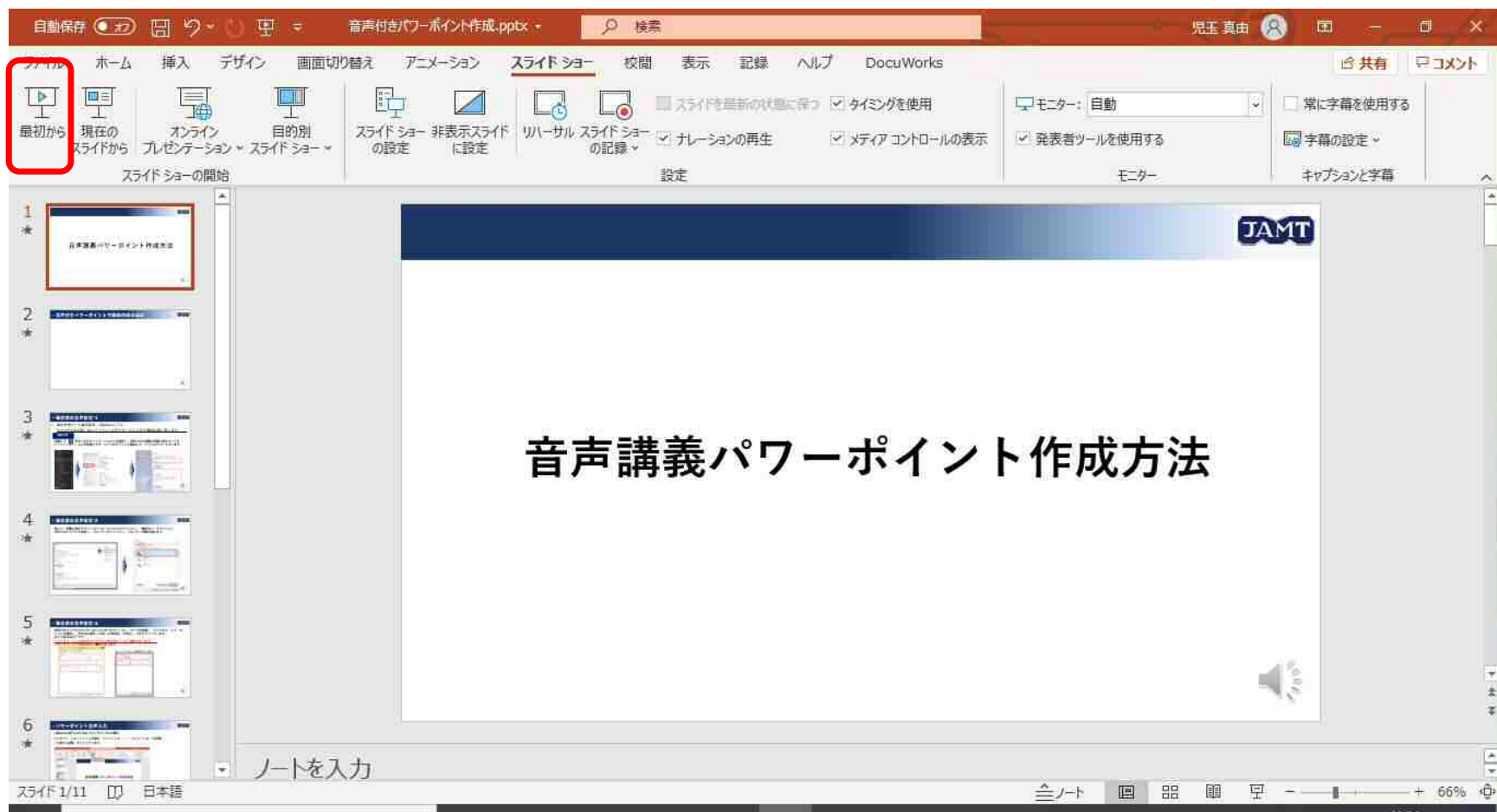
最後のスライドで、  
ここをクリックすると  
録音が終了になります。

# ・音声確認



Windows

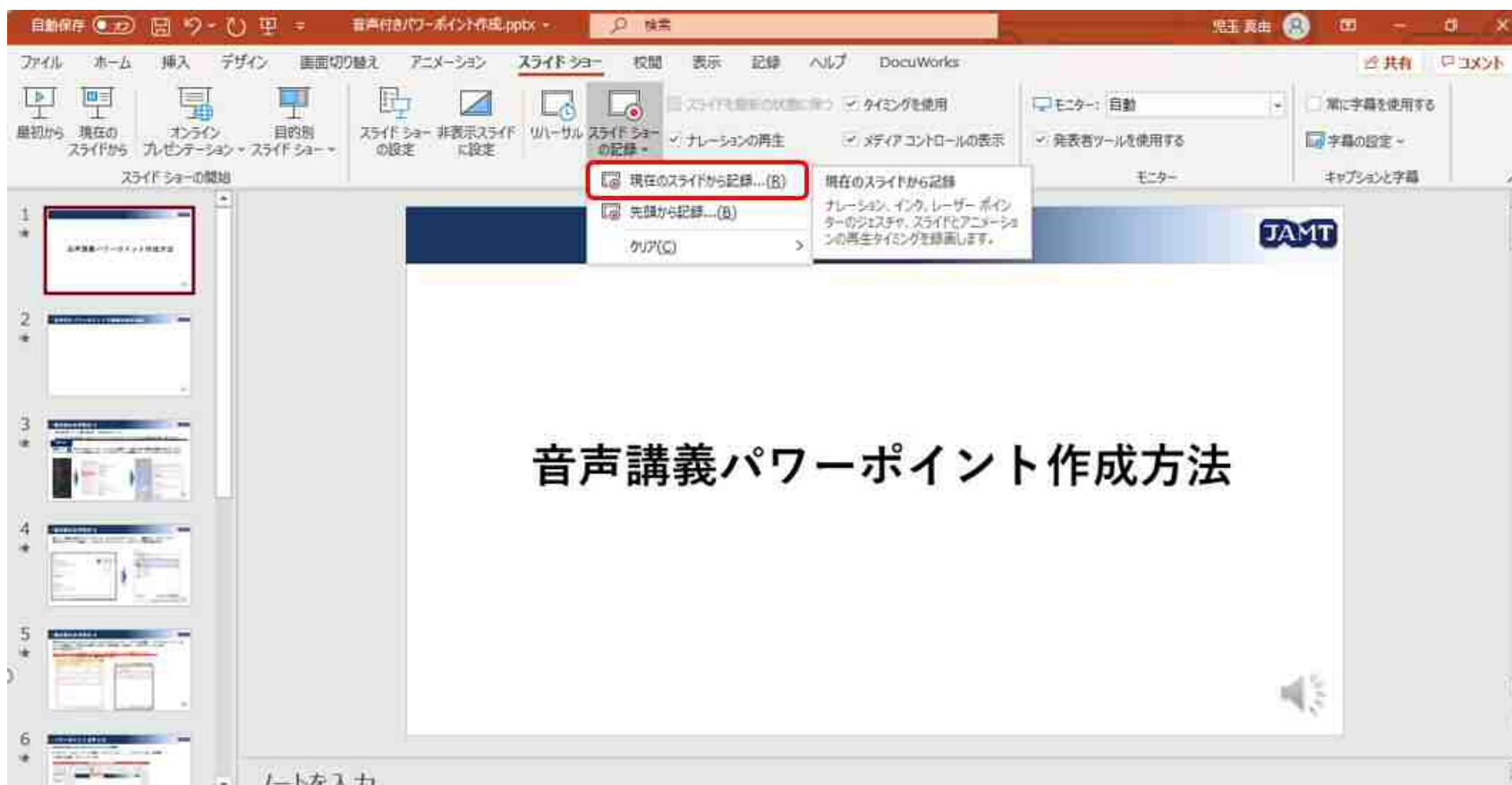
元の画面に戻ったら [スライドショー] タブの [最初から] をクリックし、内容の確認を行います。



# ・ 音声の一部を修正する方法

Windows

- ①修正したいスライドを表示します。
- ②[スライドショータブ]⇒[スライドショーの記録]⇒[現在のスライドショーから記録]をクリックし、ナレーションを録音し直せば、自動的に上書きされます。
- ③ナレーションが終わったら、次のスライドに進まずに [Esc] キーを押して録音を終了します。



# ・ビデオの作成

Windows



パワーポイント画面左上、[ファイル]をクリックし、[エクスポート]→[ビデオの作成]

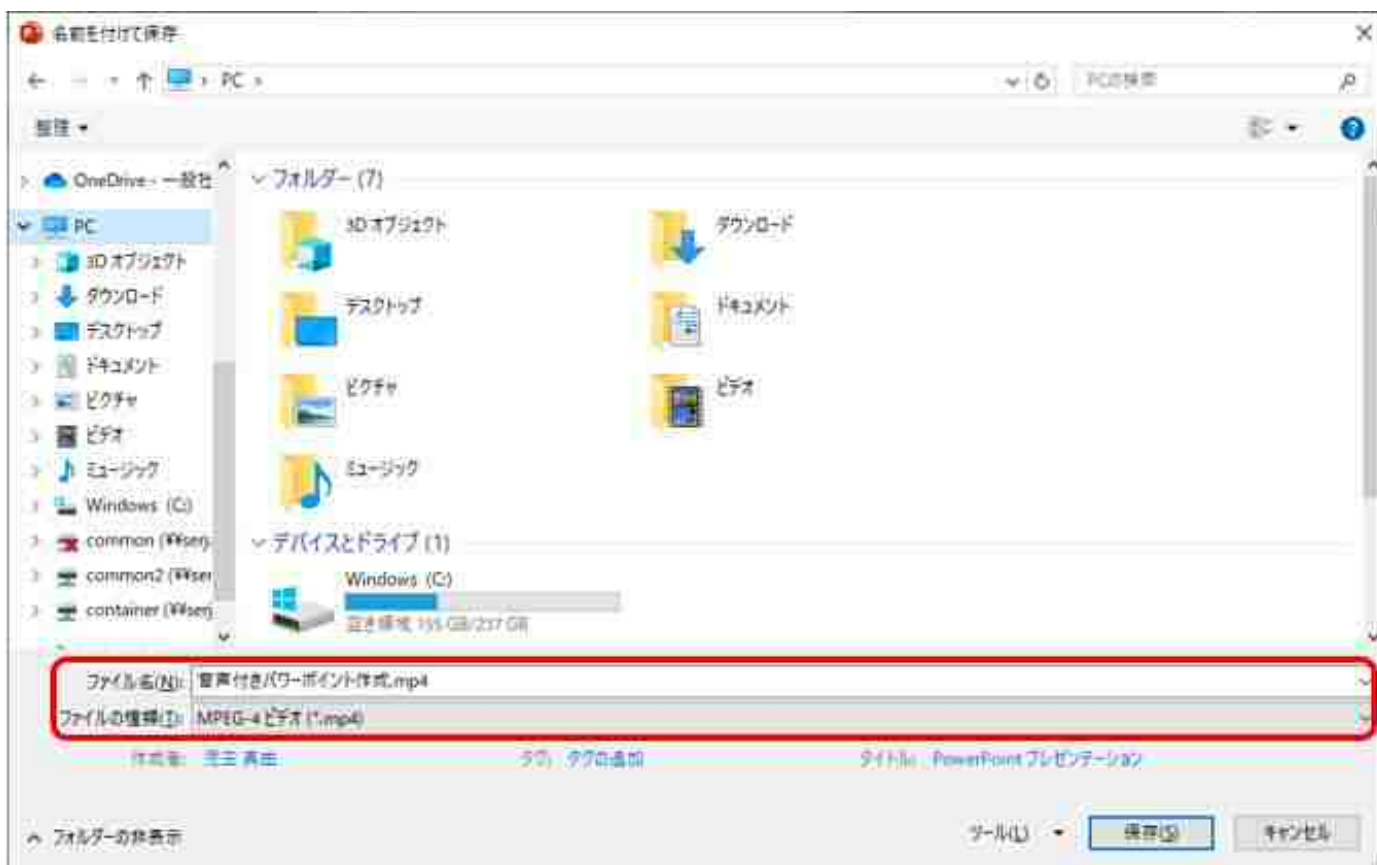
- ①サイズ → インターネット品質 720p推奨
- ②[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択 (※各スライドの所要時間は無視)
- ③[ビデオの作成]をクリック



# ・ビデオの保存

「名前を付けて保存」で保存前にファイルの種類がMPEG-4ビデオ(\*mp4) になっていることを確認の上、保存する。

これで音声付きのパワーポイントの作成は完了です。



# Mac音声付パワーポイント作成方法



- ・ PowerPoint for Microsoft 365 for Mac

# 録音前の音声設定 for Mac

## 事前音声マイク確認事項 <Mac>

PowerPointを開く前にマイクレベルが上がっているかを確認お願い致します。

### 確認方法

Dockにある[システム環境設定]  を選択→システム環境設定内[サウンド]  選択します。

[サウンド]内[入力]をクリックし[マイク]を選択し、入力音量が真ん中より上に設定します。






# ・録音前のセキュリティ設定 for Mac

Mac

## 1. マイクセキュリティ確認事項 <Mac>

PowerPointを開く前にセキュリティが設定されているかを確認お願い致します。

### 確認方法

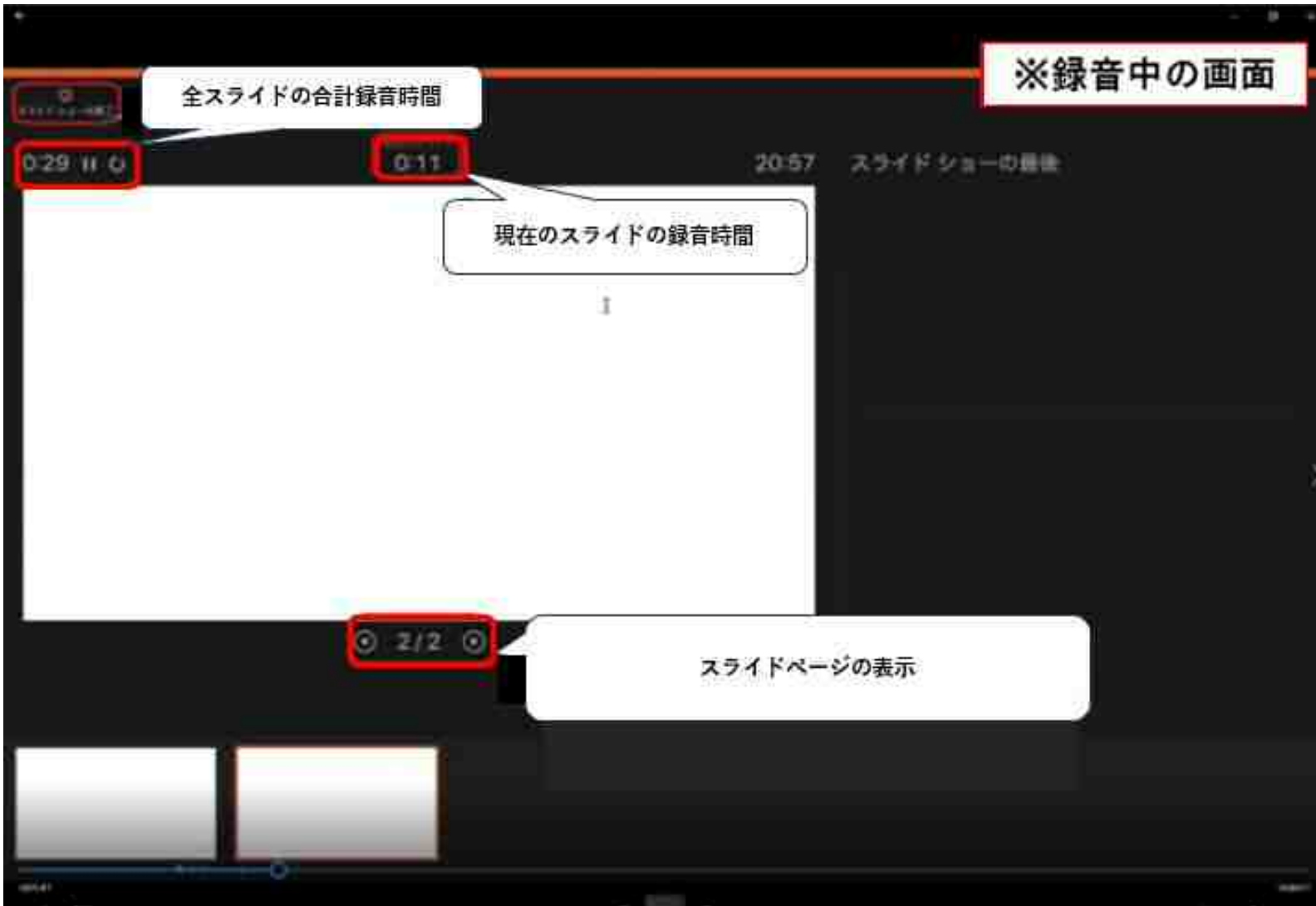
Dockにある[システム環境設定]  を選択→システム環境設定内[セキュリティとプライバシー]を選択します。[セキュリティとプライバシー]の[プライバシー]タブをクリックし、画面左側[マイク]を選択し、右側のアプリケーションで[Microsoft Power Point]にチェックを入れます。



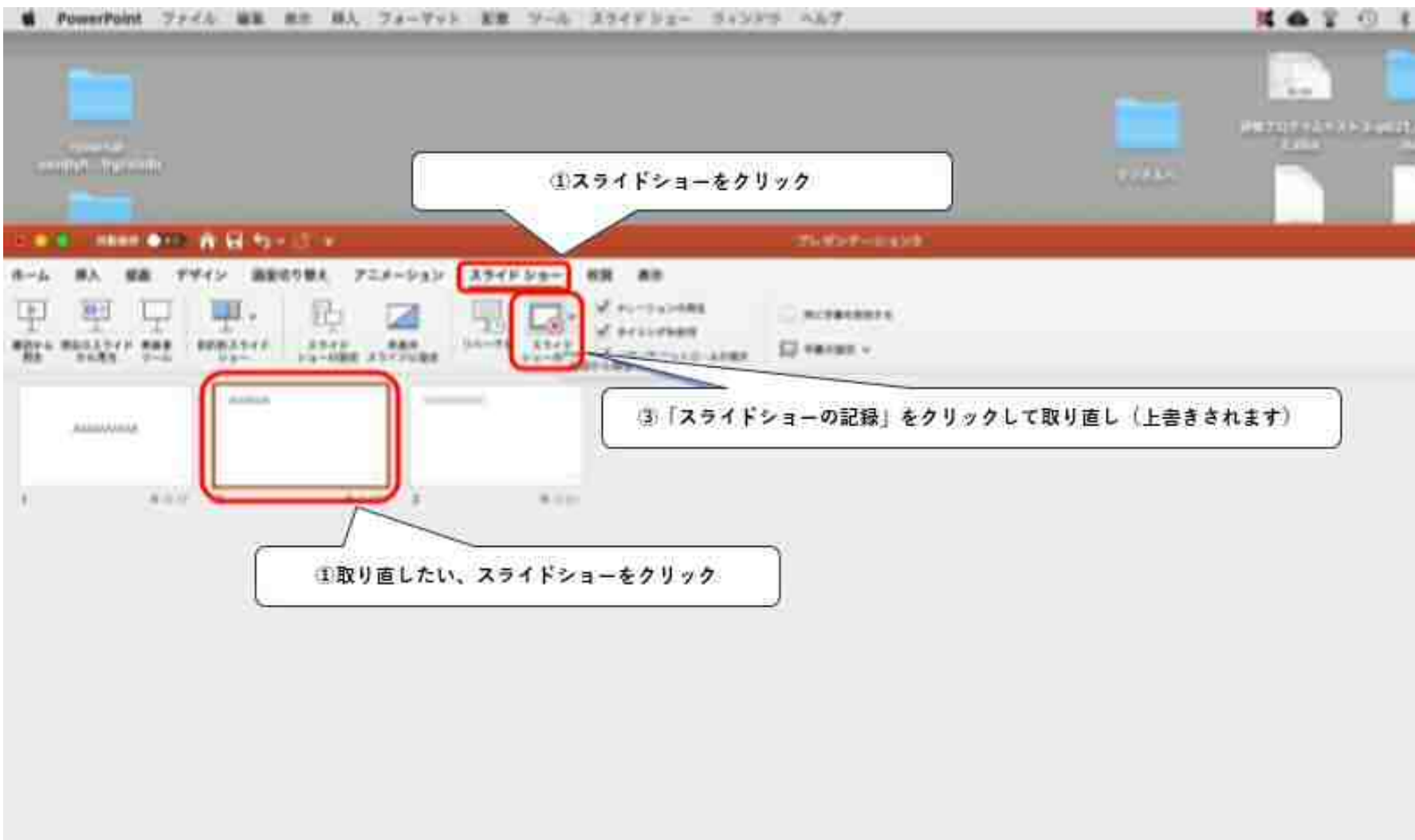
# ・ パワーポイント音声入力 for Mac



# ・ パワーポイント録音中の操作for Mac



# ・ 音声の一部を修正する方法 for Mac



# ・ 音声の一部を修正し終了する方法 for Mac



# ・MP4ファイルで保存する for Mac

[ファイル]、[エクスポート] の順に選択します。

画面が表示されたら、

[ファイル形式] の一覧を開き、目的のビデオ形式 (MP4) を選択します。

[品質] インターネット品質を選択します

[記録されたタイミングとナレーションを使用する] がオンになっていることを確認します。

すべての選択が終わったら、[エクスポート] を選びます。以上で保存は完了です。

